

第5回おやま井戸端会議 議事録要旨

日時： 令和7年3月8日(土)13:30～15:30

会場： 小山市役所1階 情報展示コーナー

出席者： 参加者11 名

スケジュール：

(1) 開会	13:30
(2) 市長挨拶	13:30～13:35
(3) 運営委員紹介	13:35～13:38
(4) 意見交換方法の説明	13:38～13:40
(5) 意見交換	13:40～15:00
(6) 意見共有	15:00～15:10
(7) 市長、副市長、運営委員長総評	15:10～15:25
(8) 閉会	15:30

参加者(運営委員含む)の意見(要約)

A グループ

- ・待ち合わせ場所として使えるようなシンボルとなるものがあると良い
→例えば「おやま」という文字のオブジェとか。
- ・時計がないのが気になる。
- ・通過点ではなく、町の核となるような、立ち止まって人が集えるような駅にしたい。
- ・若者が集まる駅にするために、スケートボードができる場所があれば良いのではないかと→スケートボード禁止場所で滑っている人がいるので、しっかりとした整備が必要。
- ・PLAN OYAMA(プランオヤマ)が実現すれば小山駅は良い駅になる。
- ・南口が暗く怖いので、明るくなるよう、南口改札を復活してほしい。
- ・北関東は車がないと生きていけないという固定概念があるが、駅近くに住んでいると車がなくても不便ではないので、小山市はウォーカブルな町というのを PR できたらよい。
- ・宇都宮より終電が遅いのが強み。
- ・終電後も営業しているお店を、ロブレ閉鎖後も確保してほしい。
- ・学生にとって、駅は学習ができ、買い物や食事もできて、友達と集えるという場所になっているというのがポイント。
→ロブレ閉鎖後も学生の集える場所を確保してほしい。(フードコートがあると良い。)
- ・子供も大人も入りやすい空間として、駅の前にカフェスペースのある図書館があると良い→1日中駅周辺にいられる環境が理想。
- ・駅からの2次交通について、ハーヴェストウォーク行きの便が混雑して乗り切れていないので増便して欲しい。
- ・ロブレ地下の無料駐輪場は開く時間が遅く、閉まる時間が早いので、利用しにくい→バスの乗り換え時間に合わない。
- ・バスの停留所に現在あるバスの位置情報システムのサイネージや、QRコードを設置して運行状況を分かりやすくしてはどうか。

第5回おやま井戸端会議 議事録要旨

- ・バスで北から南に乗り換えなしで行けるようになると良い。
- ・徒歩、自転車、バスなど様々な移動手段が選べるようになれば、駅前の混雑が減らせる。
- ・空き家を利用したフリースクールをつくる。
- ・保育園の送迎ステーションが行われているが、小学校でも小規模特認校を対象として送迎ステーションを行ってはどうか。
- ・PLAN OYAMA(プランオヤマ)にもあるようにロータリーをすべて芝生にして、子供が改札を出てそのまま遊べる空間があるとよい→駅にこどもの居場所を作る。
- ・駅周辺に気軽に利用できる貸し会議室やオフィス、ブース等があれば社会人も大学生も集いやすくなる。
- ・週末遊びにくる層だけでなく、日常的に利用する層の両方の意見を聞いて欲しい。

B グループ

- ・小山駅は交通の要である。
- ・小山駅＝ロブレの印象が強い。
- ・駅の中や駅周辺に若者が遊べる場がほしい。
- ・小山駅前は「治安が悪い」と言われているのがもったいない。駅前は治安が良くないので注意するようにと学校からも言われている。子どもたちへの教育と親のモラル向上が必要。
- ・駅前でスケートボードを利用する若者が見られ危ないので規制してほしい。
- ・小山市街地は車を持たなくても生活できるのが良いところだと思う。コンパクトシティ化を積極的に進めてほしい。PLAN OYAMA(プラン オヤマ)に掲載されている「西口広場エリアの未来」のようなウォーカブルな駅前になってほしい。
- ・ロブレが撤退してもドン・キホーテは無くさないでほしい。小山駅で遅くまで開いている店はドン・キホーテであるため、無くなってしまうと夜の買い物等が不便になってしまう。
- ・駅に30代～40代の方向け、または子育て世代向けのお店があると嬉しい。
- ・駅のなかに、年代に応じたたまり場があると良い。
- ・ロブレは勉強をする(生涯学習センター、未来塾)ためによく使うが、勉強をした後にご飯を食べる場がない。リーズナブルな値段で利用できるフードコートなどがあると良い。駅前に有名なお店(マクドナルドやミスタードーナツ)があると良い。
- ・匂いで客は寄せられるので、良い匂いのする飲食店が駅の中や駅周辺あると良い。
- ・クラフト館がある辺りにお店ができると利用しやすい。
- ・学生は安くてワイワイできるような場があれば満足である。ただし、そのような場ができると治安が悪くなる可能性があるため、市民のモラル向上が不可欠である。
- ・小山市民の生活レベルに合わせたお店が必要。また、お店は学生も買い物ができるような値段設定にする必要がある。
- ・いちごの里が駅近くにあると良い。または、駅でいちご狩りができるとインパクトがある。

【その他】

- ・県外から小山市へ引っ越してきた時に「小山市は意外と都会」だと感じた。このフレーズを活用できないか。
- ・自治会と育成会は会員が被ることが多いと思うが、関係が希薄であると感じる。また、地域の活動は

第5回おやま井戸端会議 議事録要旨

高齢者が主体になっていることが多く、若者は「動員される立場」という印象が強い。そのため自治会等で発言しづらい。地元がこういった場所だと、将来地元に住み続けたくないと思ってしまう。

- ・他市町村のなかには自治会で地元のルールを決めているところがあるが、小山市でも同様にできないか。若い方が自治会に入る理由にもなり、若者の意見を取り上げられるようになると思う。
- ・花火大会の後などは駅前にゴミが散乱しており印象が良くない。
- ・モラル向上には市民性を上げることが大切。復興を目的とイベントや市民自ら作り上げたイベントでは、ごみのポイ捨ても少ないし治安が悪くならない。
- ・栃木県で、信号のない交差点で歩行者が横断しようとした際に車が停止する割合がワースト 1 位だった際に、「止まってくれない栃木県」というフレーズで何度も注意喚起したところ停止する割合が向上した。このように繰り返し PR することでモラル向上にも効果がみられるのではないか。「やってはいけない」と規制するのではなく PR 強化も効果的であると思う。(＝「北風と太陽作戦」)

感想等(一部抜粋)

- ・皆が自由に意見を交換でき、小山について考えられる良い機会だった。
- ・とても楽しい会議でした。皆さんが人の意見を尊重している点がよかった。
- ・今回初めて参加させていただきました。自分の思っていることや考えていることを他の方々に共有させて頂く良い機会となりました。また、他の方々のご意見や市長の考えも直接聞くことが出来て大変勉強になりました。市民同士で意見を交換し合う貴重な場だと思います。また機会あれば次回も参加したいと思います。